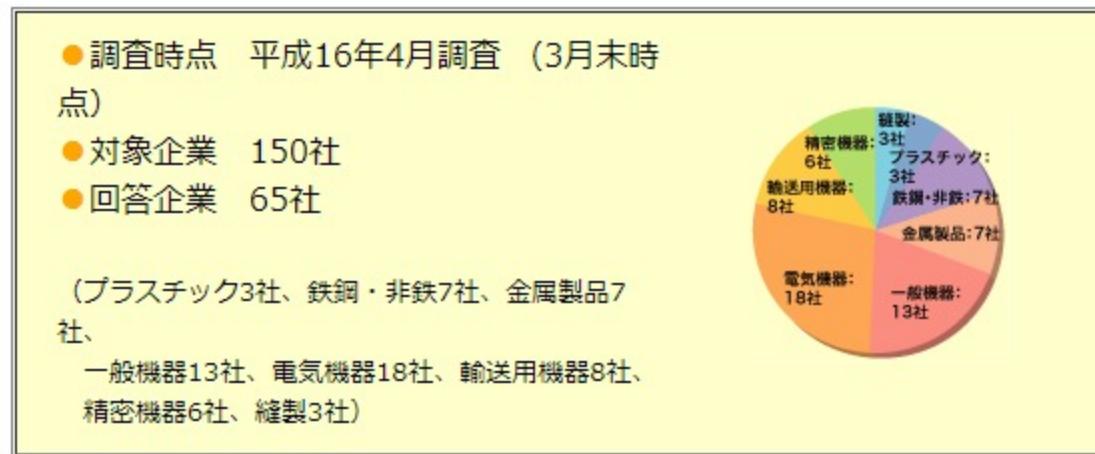


発注動向

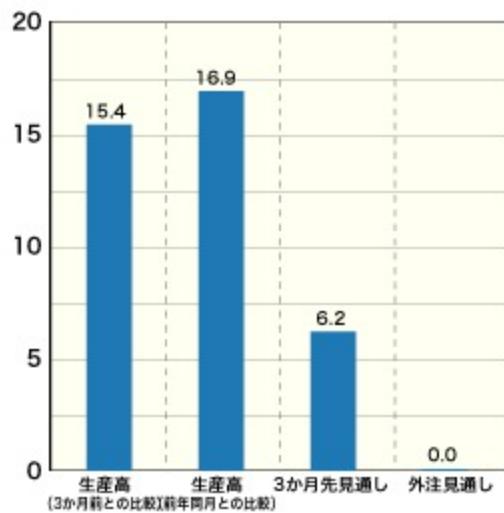
2004.3



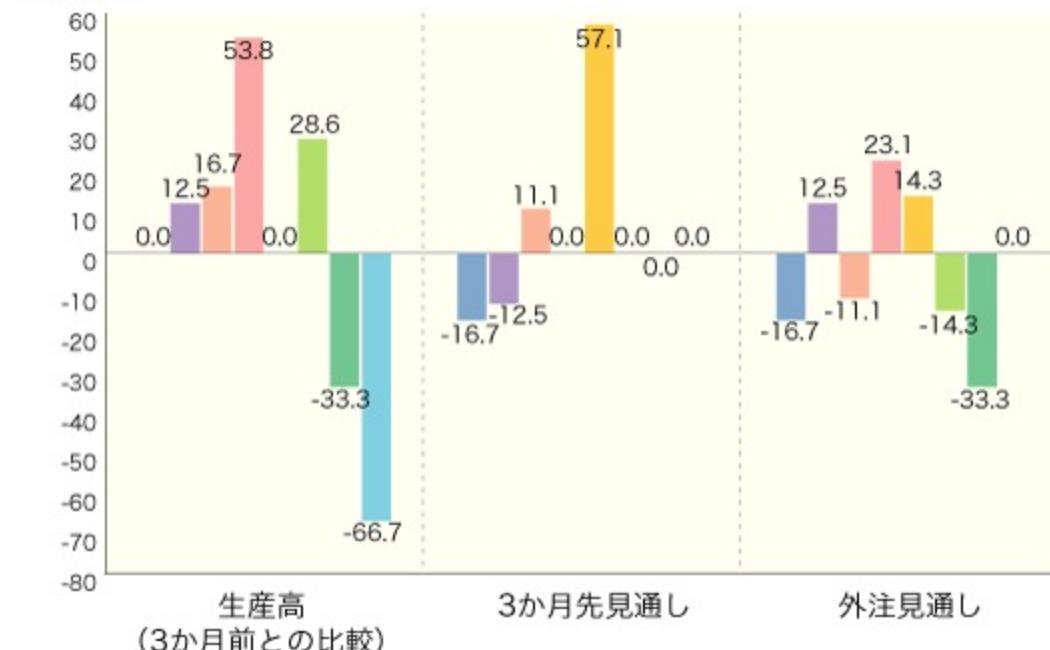
生産高（3か月前比及び前年同月比）は好調な結果が得られたが、前回の調査結果（16年1月末）と比較するとDI値は下降している。また、3か月先見通しは微増の傾向、外注見通しはほぼ横ばい状態であり、先行きの動向に関しては慎重な動きが見られる。

●生産高 3か月前比では、「一般機器」、「鉄鋼・非鉄」が増加しており、「プラスチック」、「縫製」では減少、その他の業種については横ばい傾向である。また、3か月先見通しでは唯一、「金属製品」が大幅増加となっており、その他の業種については外注見通しも含めてほぼ横ばい状態である。なお、前回の調査結果で3か月先見通し及び外注見通しともに明るい傾向が見られた「精密機器」、「プラスチック」において、今回の調査結果では一転して先行き不透明感が表れている。

■全業種



■各業種



[受注動向のページへ](#)

[ウィンドウを閉じる](#)